

5

現代の国語
現代の国語
現代の国語
現代の国語

教育学部
経済学部
経営学部

令和8年度入学試験問題
解答紙
(4枚のうち1枚目)

受験番号

5
受験番号

1 (60点)

問1	どの政党のどの政策を1に抜き取られている。
問2	(ウ)
問3	対立を避け、なるべく政治的に中立でいたいという気持ちは、政治的中立という殺し文句を用いたパワーゲームに巻き込まれ、一方の都合がよいように使われるため、そこで中立にとどまろうとすればするほど、それは政治的な意味を持ってしまいうから。さまざまな価値が対立すること、そしてそれらのいずれにもコミットしないという意味での中立はありえないことを前提にし、いろいろな価値が対立することを根拠にして事実と価値を峻別すると同時に、それらの価値を突き合わせ、それを検討するなかで、自分に対して自分の価値を明晰に自覚化することが求められるという考え。
問4	とても仲のよい誰かとは異なる社会を自分は望んでいるという事実能耐えて、自分の手持ちの考えと他者の考えの相違点を確認し、その違いがどのようなものかを認識し、それぞれの立場の理由を検討するというプロセスを通してこそ、討論する政治文化が育つから。
問5	「党派性」とは、さまざまな価値が対立するなかで、何らかの価値へコミットメントする態度を決定することである。例えば、原子力発電所の建設の賛否が分かれるなかで、特定の政党を支持することが挙げられる。しかし、現代の政治教育は、そのような価値が対立する問題に踏み込まず、議論させないようにしている。
問6	

採点

医学部に強い!60年の信頼と実績
学校法人 北九州予備校
専修学校



北予備公式HP

受験番号
●●●●●●

受験番号
●●●●●●

三 (40点)

問5		問4		問3		問2		問1	
イ	ア					Y	X	②	①
<p>最初、九郎が身につけていた華美な鎧をすばらしいとするように、見かけに心を奪われて不要な財を費やし、戦に大事な武器や馬の機能性を忘れてしまうだけでなく、身につけたものが豪華であれば目立って敵の標的になって身を滅ぼしてしまうから。</p>		<p>武器は質の良い材料を選び、高い機能性を持ち、馬は体力があつて従順であるという点に気をつけるべきと言っている。</p>		<p>先日のような九郎の贅沢な出で立ちだと、味方の若い者たちがそれに憧れ、真似をするようになり、家計が追いつかず、そのことよつて、立派な従者を養う財力がなくなり、敵と対峙する時に命を落としかねない。武士の出で立ちとしては、今日のような質素であつても実用性を重視したものが望ましいと頼義が思っていたから。</p>		<p>強意(完了)の助動詞「ぬ」の命令形</p>		<p>何とも言えないほど美しく整えて</p> <p>(頼義朝臣は)熱心に(九郎に)申し上げなされたので</p> <p>完了の助動詞「り」の已然形</p>	
<p>九郎が着用していた華美な鎧は、持ち主が命を失いかねず不吉なので、手放せと言つたのにまた同じ鎧を着ていると頼義が指摘した。それに対し、九郎は命令に従つて件の鎧とは別の鎧を着ていると答えた。</p>									

採点

医学部に強い!60年の信頼と実績

学校法人
専修学校

北九州予備校



北予備公式HP

8

語化語語
の
文
国
語
理
学
の
代
現
言
論
文

経済学
経営学
教育学
心理学
社会学
政治学
法学
経済学
経営学
経済学
経営学

令和8年度入学試験問題

解答紙

(4枚のうち4枚目)

受験番号
88888

8

受験番号

88888

四 (40点)

問1	どろぼうが、鍵のかかった大きな箱を斧で壊して中を見たところ、金品ではなく人であったことに驚き恐れたから。	
問2	目を覚まし、辺りを見まわすと激しい炎が天まで燃えさかり、黒煙が一带に立ちこめていて、人々の泣き叫ぶ声が聞こえ、日常の都とは隔絶した凄惨さを目の当たりにしたため。	
問3	傍に老叟の亦た火を避くる者有り。	
問4	因りて語るに夜来の大焼事を以てす。	
問5	(エ)	
問6	㉑	すでに
	㉒	また
問6	㉓	すなは(わ)ち
	㉔	ますます

採点

□ □

医学部に強い!60年の信頼と実績

学校法人
専修学校

北九州予備校



北予備公式HP